

困ったら保護者に相談を

新しく先生になったみなさんへ

蕨市立塚越小学校PTA会長

太田 直子

学校は楽しいですか？ 子どもと遊んでますか？ 楽しんでますか？ 子どもの笑顔と泣き顔をいと感じてますか？ いま、学校は忙しくさまざまな業務におわれ、いっぱいいっぱいになることもあるかもしれません。もう学校に行きたくない、と思う朝もあるでしょう。でも、そんな時は肩の力を抜いて、自分をいたわってください。そして、先生になりたい！と思ったときの気持ちを思い出してください。若さの特権は失敗しても、大目にももらえることです。それを存分に利用して、いろんなことにチャレンジしてください。同時に、先輩から、保護者からも子どもからも何かを学びとる謙虚なまなざしを大切にしてください。

保護者は子どものことが気がかりですし、機会あれば子どもが一日の大半を過ごす学校に関わりたいと思っています。どうか遠慮せずに、困った

ことがあれば保護者に相談してください。「しまった」と思うことがあつたら隠そうとせずに、正直に話して助けを求めてください。子どもをよく育てたいという思いは、先生も保護者も一緒です。時には子どもの味方になって保護者とぶつかってください。子どもには親にはいえないこともたくさんあるものです。そんな一面を、先生にぜひ気づいて欲しいのです。どんなに若くても教育技術が未熟でも、「先生はわが子のことを思っていてくれてるんだ」という思いさえ伝われば、保護者は安心できます。先生を支えようという気持ちになります。保護者もまた、子どもを通じて変わることができるものです。その可能性を信じて、あきらめずに、しかし気張らずに、子どもとの関わりを楽しみながら一歩一歩、教師の道を踏みかためていってください。